

平和を祈る朗読会

「星は見ている」

〜原爆でわが子を亡くした父母らの手記より〜

朗読

俳優・朗読座主宰

紺野美沙子さん



令和7年

6月28日(土)

14:00～15:15(予定) 開場13:30～

会場 北広島市芸術文化ホール
活動室1・2(北広島市中央6丁目2-1)

定員100名(先着順) 入場無料

広島市の原爆で息子を亡くした藤野としえさんの手記を小川典監督による悲しくも美しいオリジナル映像に合わせ、紺野美沙子さんが朗読します。2023年には、全文英訳付の絵本「星は見ている」(文/藤野としえ・絵/広田郁世・編/紺野美沙子)が今人舎より刊行されました。

申込方法については、
裏面をご覧ください

北広島朗読ボランティア“ひびき”30周年記念特別朗読会
「平和を祈る朗読会 ～星は見ている～」

紺野 美沙子氏（俳優・朗読座主宰）



1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台では「細雪」（原作：谷崎潤一郎）「忠臣蔵」「日本の面影」（作：山田太一）「両国花錦闘士」（原作：岡野玲子）など、硬軟を問わず意欲的に取り組んでいる。バラエティ番組にも度々出演し、飾らないトークで注目を集めている。1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、国際協力の分野でも27年に渡り活動した。2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。NHKエフエム「音楽遊覧飛行」案内役を担当。元祖スー女としても知られ横綱審議委員である。

特別朗読会開催にあたって（ご挨拶）

北広島朗読ボランティア“ひびき”は、1996年の設立から30周年を迎えました。私たちのこれまでの活動にご協力いただいた皆様、一緒に活動を支えていただいたボランティアの皆様から心から感謝を申し上げます。

私たち“ひびき”は、読むことに不自由を感じている方のお手伝いをするボランティアサークルとして、朗読テープ・CDの作成や対面朗読、電話を通じた新聞代読などの活動をしてまいりました。2002年からは、毎年8月に、平和や戦争をテーマにした作品をお届けする「平和を祈る朗読会」を開催してまいりました。

今回、30周年を記念し、俳優の紺野美沙子さんをお招きして、特別朗読会を開催いたします。私たちの30年の活動や平和への思いを感じていただく特別な朗読会です。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

北広島朗読ボランティア“ひびき”
代表 遠藤 隆子

申込方法

参加をご希望の方は、電話又は北広島市図書館（本館）カウンターに直接お申込みください

- 申込受付開始 6月1日（日）から
 - ・定員（先着100名）に達し次第、申込受付を終了します
- 申込方法
 - 図書館（本館）に電話
 - 図書館（本館）カウンターに直接申込
 - ・未就学児の入場は不可です
 - ・最大2名まで申込みできます

【お問合せ】 北広島市図書館 電話（011）373-7667